

2020年度 自己評価（園長編）の結果及び改善策

I 「教育内容」についての評価結果及び改善策

- ・教職員間におけるミーティングおよび日々の振り返りを十分に行い、教育内容等について共通理解を図っている。今後もその体制で継続していく。
- ・コロナ禍の影響で教職員の研修の場が十分ではなかった。3学期、可能な限り研修の機会を作ろうと考えている。
- ・コロナ禍の行事については、いつも保護者の皆さまのご理解とご協力に助けられ、概ね実施できた。

II 「地域の幼児教育センターとしての役割」についての評価結果及び課題

- ・子育て支援事業の「ひだまり広場」は、コロナ感染拡大のために例年通りのスタートを切ることができなかったが、2学期に入ってから人数制限をしながら数回実施できた。この取り組みについては高い必要性を感じており、今後も可能な限り実施していく。

III 「安全管理」についての評価結果及び改善策

- ・防災・避難訓練を毎月実施している。訓練の予定をしていない時に火災報知器が鳴るハプニングが起きた時、子どもたちは落ち着いて先生の指示に従いながら行動できた。日頃の訓練が身についてきていると感じている。今後も火災、地震、津波、防犯等々、様々な訓練に努めていく。
- ・日々起こりうるヒヤリハットの危険が無いよう、様々な活動場面で常時意識して保育に当たるよう、都度の安全確認を徹底していく。

IV 「人事管理」についての評価結果及び改善策

- ・経験豊かな保育者、若手保育者、保育補助とたくさんの大人の目で保育に当たっている。定期的なミーティング、毎週の保育計画を立てながら、子どもたちの日々の実態について共通理解を図りながら対応している。
- ・認定こども園になってから、働き方が大きく変化してきた。仕事の質を向上させる研鑽を積んでいくと共に、心にゆとりを持って勤務するために仕事量を考慮していくなどの改善策を講じていくよう努めていく。

V 「財務管理」についての評価結果及び改善策

毎年、公認会計士による監査を受け、法的に整備されている。

VI 「評価と情報の公開」についての評価結果及び改善策

- ・ホームページにて毎日園生活を送る子どもたちの様子や学校評価の結果を公開している。更新は毎週行っている。
- ・行事予定等については、毎月のクラスだよりやお手紙でご案内している。また、必要に応じた電話連絡など、家庭との密な連携に努めている。今後も継続していく。